

健康生きがい学会 第9回大会開催要項

超高齢社会を迎えたわが国で「長寿を喜びあえる社会」となるように各分野の専門家が集まり、生きがいのある人生を送るために「健康生きがい」について考える大会です。
「健康生きがいを支える福祉機器・ロボットの役割」をテーマに健康生きがいについて考えてみませんか。皆様の参加をお待ちしています。(実行委員長 松山博光)

日 程	平成30年11月11日(日)9:00~18:00
場 所	大妻女子大学千代田キャンパス(東京都千代田区三番町12番地)
参 加 費	会員500円、一般500円、院生・学生無料、当日入会の会員無料
内 容	大会テーマ 「健康生きがいを支える福祉機器・ロボットの役割～人生100年時代を迎えての高齢者の生き方～」
9:00~	受付
9:30~9:35	実行委員長挨拶 松山 博光 (大妻女子大学人間関係学部教授)
9:35~9:45	会 長 挨拶 京極 高宣 (国立社会保障・人口問題研究所名誉所長、社会福祉法人浴風会理事長)
9:45~9:50	オリエンテーション 宮島 敏(健康生きがい学会常務理事)
9:50~10:30	基 調 講 演 「人生100年時代を迎えての高齢者の生き方(仮)」辻 哲夫 (健康生きがい学会理事長、東京大学高齢総合研究機構特任教授)
10:35~11:35	特別記念講演 星 旦二 (首都大学東京名誉教授)
11:35~12:45	= 昼食・移動 =
12:45~14:45	分科会 (第1部) (第1分科会) 在宅医療の推進と健康生きがい …在宅医療の展開を通じた健康生きがいの獲得を軸に 座 長: 新田 國夫 (医療法人社団つくし会理事長、全国在宅療養支援診療所連絡会会長、日本臨床倫理学会理事長) パネリスト: 3名 (第2分科会) 福祉機器・ロボットの活用と生きがい …人生100年時代における向き合い方として 座長兼パネリスト: 和田 一義 (首都大学東京システムデザイン研究科准教授) パネリスト: 3名 (第3分科会) 地域共生社会と生きがい …コミュニティカフェ(地域交流拠点)の観点から 座長兼パネリスト: 米田 佐知子 (子どもの未来サポートオフィス代表) パネリスト: 3名 (第4分科会) 健康生きがい活動(自由発表) 座 長: 白井 幸久 (群馬医療福祉大学短期大学部教授) 発 表 者: 5名
14:55~16:55	分科会 (第2部) (第5分科会) 障害者の就労と暮らしを支える生きがい支援…暮らしそのものを支えるという視点から 座 長: 南山 達郎 (認定NPO法人ばれっと事務局長) パネリスト: 3名 (第6分科会) 子ども・若者の生きがい支援…子ども食堂の動向を軸にした生きがい支援のあり方 座 長: 阿部 彩 (首都大学東京人文科学研究科教授) パネリスト: 3名 (第7分科会) フレイル予防…健康生きがいに満ちた暮らしにおける虚弱予防を中心に 座 長: 交渉中 パネリスト: 3名
16:55~17:10	= 移動・休憩 =
17:10~17:25	全体会 理事会報告
17:25~17:35	表彰 講評・学会賞表彰
17:35	閉会